

子供たちと一緒に 安全についての「シンキングタイム」を とりませんか

※一部抜粋です

◆歩くときや自転車に乗っているときに「気をつけるとよい」「こうすると安全だね」などと話し合った場所・内容



- ・ 緑色のスクールゾーンからはみださないように気をつけようね、と話しました。
- ・ 側溝がある場所では、白線の幅がせまくなっているの、自分たちで周囲の状況をよく見ること。車が来たときには立ち止まるとか臨機応変に行動するように本人も伝えました。
- ・ 子供たちと一緒に歩いて下校したときに思ったことは「交通ルールを守れる子でホッとした」「『緑の線の内側を歩く、赤信号は止まる』などの当たり前のことをきちんとできていることに安心した」ということです。親子で改めて交通ルールの確認や安全面の確認は大切だなと感じました。

(↓おばあちゃんと保護者、子供の3人でかいてくれました)
- ・ 見通しの悪い三叉路の道は、手をあげて、注意して渡るように言いました。(大人)
- ・ 道がせまくて、いっぱい通るのできけんだとおもいました(子)
- ・ 大型スーパーの裏の横断歩道は、車が見えないので必ず一旦停止することを話しました。
- ・ 大通りの交差点は車がたくさん通るので、信号を待つときも前の方ではなく、少し後ろに下がって待つようにすると安全だと思いました。
- ・ 車が多いので、ちゃんと前を向いて歩くこと、縁石にのりたくなっちゃうけど、道路側によろけて落ちると車にひかれちゃうこと、を話しました。
- ・ 登下校のときに地震がおきたら周りの石やレンガが落ちてこないか気をつけながら歩こう、と話しました。
- ・ よそみをしない、虫や石など気になる物があっても拾わないことを話しました。

- ・スピードを出してくる車が多いから右左何度でも見ることも、蝶々がとんできても追いかけないこと、水分補給を忘れないことを話しました。
- ・学校から学童に行くときに走らないこと
- ・集合場所の公園の周りの道路は車が多く通る道だということを忘れてしまいそうになるので、気をつけるようにこれからも伝えていきたいです。
- ・（安全つながりて、この機会に）家にいるときに地震が起きたらどこにいるのが安全か、災害時の避難の仕方、どこで待ち合わせるのかについて一緒に考えて話すことができました。

お子さんと一緒に話し合ってください、ありがとうございました。この一緒にシンキングタイムの後、朝の登校でグリーンラインを意識してくれる子、もう少しよってね、と声をかけてくれる高学年の子が増えました。

ご多用の中、引き取り訓練及び子供たちと一緒に考える時間を取ってください、心より感謝申し上げます。



Q3 通学路の危険箇所なので市につたえてほしいことなど

- ・通学路途中の庭木が大きくなり道にはみ出していたので、車も人も大まわりしています。事故につながらないか心配です。
- ・大きな道路への抜け道になっているためか、交通量も多く路上駐車もよくみかけます。路上駐車を避けるために子供たちの近くを車両が通ることもあり、安全面で少し心配です。
- ・ふたがない深めの側溝があります。（歩いていて一度落ちかけたこともあります）ふたをつけていただけると安心です。

・機会を捉えて市に伝えていきます。